

大学入試  
実戦国語  
漢文・詩

見本

## 漢文

## 詩

## 基礎問題

次の王安石の詩を読んで、後の問いに答えよ。(送り仮名を省いた部分がある。)(相模女子大・学芸)

解答・解説↓別冊186ページ



\*杭州望湖楼<sup>ヨリ</sup>回<sup>リ</sup>馬上<sup>ニテ</sup>作<sup>リ</sup>呈<sup>ス</sup>\*玉汝・楽道<sup>ニ</sup>

水光山气碧浮浮<sup>タリ</sup>

落日将<sup>レ</sup>帰又少留

\*杭州||江南第一の風光明媚の地。玉汝・楽道||韓玉汝と楊楽道。ともに王安石の友人。

(1) 従<sup>レ</sup>此<sup>ニ</sup>祇<sup>ニ</sup>応<sup>ニ</sup>長入<sup>ラ</sup>夢

(2) 夢<sup>ノ</sup>中<sup>ニ</sup>還<sup>タ</sup>与<sup>ニ</sup>故人<sup>一</sup>遊

問一 この詩の形式を何というか。次の中から適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

イ 七言絶句      ロ 七言律詩      ハ 五言絶句      ニ 五言律詩

問二 この詩は脚韻を踏んでいるが、次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

イ 浮・夢      ロ 留・遊      ハ 浮・留・遊

ニ 浮・夢・遊      ホ 留・夢・遊

問三 この詩は、一日の中のどの時点での気分をよんでいるか。次の中から適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

イ 未明      ロ 夜明け      ハ 真昼

ニ 夕方      ホ 宵      ヘ 夜半

問四 (1)を口語訳せよ

問五 (2)を書き下し文に直せ。(例、読<sup>レ</sup>書||書を読む)

次の文章と詩を読んで、後の問いに答えよ。(法政大・経営)

解答・解説 ↓ 別冊187ページ

この詩は「月夜憶<sub>レ</sub>舍弟<sub>ヲ</sub>」と題し、西暦七五九年、作者四十八歳のときの作である。この年の暮、作者は成都に至り、浣花溪のほとりに草堂を結び、しばらく安定の時期を過ごすことになる。

- ① \*戌 鼓 斷<sub>ニ</sub> 人行<sub>一</sub>      ② \*邊 □ 一 雁<sub>ノ</sub> 聲<sub>ヲ</sub>
- ③ \*露<sub>ハ</sub> 從<sub>リ</sub> 今 夜<sub>一</sub> 白<sub>ク</sub>      ④ 月<sub>ハ</sub> 是<sub>レ</sub> 故 鄉<sub>ノ</sub> 明<sub>ク</sub>
- ⑤ 有<sub>レ</sub> \*弟<sub>ト</sub> 皆 分 散<sub>シ</sub>      ⑥ 無<sub>シ</sub> 家<sub>ノ</sub> 問<sub>フ</sub> 死 生<sub>一</sub>
- ⑦ 寄<sub>レ</sub> 書<sub>ヲ</sub> 長 不<sub>レ</sub> 達<sub>セ</sub>      ⑧ 況 乃 未 休 兵

\*戌鼓 || 警戒部隊の合図の太鼓。 邊 || 辺境の。 露 : 白 || 白露節に入ったことを示す。 弟 || 作者には四人の弟があった。  
○ 斷—斷 邊—辺 聲—声 從—從

問一 ①の「斷人行」はどのような意味か。いずれかを選んで記号で答えよ。

イ 兵士の隊列を分裂させた。

ロ 人通りをとだえさせた。

問二 ②の「雁」が象徴するものを含む詩句の番号を、③〜⑧の中から一つ選んで記号で答えよ。

問三 ②の空欄には季節の名が入るが、どれであろうか。一つを選んで記号で答えよ。

イ 春      ロ 夏      ハ 秋      ニ 冬

問四 ③と④、⑤と⑥の修辞上の関係を何というか。漢字二字で記せ。

問五 ⑦の「書」は何を指すか。いずれかを選んで答えよ。

イ 書物      ロ 手紙

問六 ⑧の大意は「ましてや今なお戦争は終わっていないのだ」となるが。その読み下し文はどうなるか。(a)・(b)・(c)の各部分の空欄にカタカナ一字ずつを入れよ。なお、現代仮名遣いでよい。

(a) □□□□スナハチ (b) □□□□ヘイヲヤメザル (c) □□□□

問七 この詩の形式は漢字四字で表される。それを「ABCD」として、それぞれに当たる漢字を選んで記号で答えよ。

イ 言 口 新 ハ 五 ニ 古 ホ 絶 ヘ 律 ト 句 チ 詩  
問八 この詩の作者は誰か。次から選んで記号で答えよ。

イ 李白

口 杜甫

ハ 王維



次の詩を読んで、後の問いに答えよ。設問の都合により一部返り点や送り仮名を省いてある。(東北学院大・経済)

解答・解説▽別冊188ページ

在<sup>リテ</sup>獄<sup>ニ</sup>詠<sup>ム</sup>蟬<sup>ヲ</sup>

駱賓王

西 陸 蟬 聲 唱<sup>ハ</sup> \*南 冠 \*客 思 □

那<sup>ヲ</sup> 堪<sup>タヘン</sup> 玄 鬢<sup>ノ</sup> 影<sup>ノ</sup> 來<sup>アリテシ</sup> 對<sup>ニ</sup> 白 頭<sup>ニ</sup> 吟<sup>ズルニ</sup>

露 重 飛 難<sup>レ</sup> 進 風 多 響 易<sup>レ</sup> 沈

無<sup>シ</sup> 人<sup>ノ</sup> 信<sup>ズル</sup> 高 潔<sup>ヲ</sup> 誰<sup>カ</sup> 爲<sup>タムニ</sup> 表<sup>ニ</sup> \*予<sup>ノ</sup> 心<sup>ヲ</sup>

\*南冠||とらわれびと。

客||異郷にあるもの。

予||わたし。

問一 首聯の空欄に入る最も適切な漢字を次の中から選び、記号で答えよ。

イ 憂      口 悲      ハ 暗      ニ 亂      ホ 侵

問二 領聯の「玄鬢」「白頭」とはそれぞれ何を指すか。次の中から最も適切なものを選び、記号で答えよ。

イ 黒髪 of 青年      口 黒褐色 of 蟬      ハ 若い頃の作者

ニ 露に濡れている濃緑色の葉      ホ 霜のおりた白っぽい枝      ヘ しらがのおじさん

ト 蟬のぬげから      チ とらわれびとの作者

問三 領聯の「那堪」を平仮名のみで書き下し文にし、口語訳せよ。

問四 頸聯の「飛難進」の主語は何か。詩の中から適切な漢字を抜き出して答えよ。

問五 尾聯の「予心」とはいかなるものか。詩の中から適切な漢字を抜き出して答えよ。

問六 尾聯では何故「誰爲」のように言われているのか。理由となる部分を詩の中から抜き出して答えよ。(漢字のみ)

標準問題

4

次の詩文は宋の王安石の「勸学文」という五言古詩の形式をとった作品である。二十句から成る一韻到底の詩であるが、設問の関係で三つの詩句を除き、①～⑬の番号を付している。これを読んで後の問いに答えよ。(上智大・外国語)

解答・解説↓別冊189ページ

- ① 讀<sub>ム</sub>書<sub>ヲ</sub> 不<sub>レ</sub>破<sub>ラ</sub>費<sub>ヲ</sub> (1)
- ② 書<sub>ハ</sub> 顯<sub>ニ</sub>官<sub>ノ</sub>人<sub>ノ</sub>才<sub>ヲ</sub>
- ③ 書<sub>ハ</sub> 添<sub>フ</sub>君<sub>ノ</sub>子<sub>ノ</sub> A
- ④ (2) 有<sub>ラ</sub>即<sub>チ</sub>起<sub>ツ</sub>書<sub>ノ</sub>樓<sub>ヲ</sub>
- ⑤ 無<sub>ク</sub>即<sub>チ</sub>致<sub>ス</sub>書<sub>ノ</sub>櫃<sub>ヲ</sub>
- ⑥ \* 窓<sub>ノ</sub>前<sub>ニ</sub>看<sub>ヨ</sub>古<sub>ノ</sub>書<sub>ヲ</sub>
- ⑦ 燈<sub>ノ</sub>下<sub>ニ</sub>尋<sub>ネ</sub>書<sub>ノ</sub>義<sub>ヲ</sub> (3)
- ⑧ \* 窓<sub>ノ</sub>前<sub>ニ</sub>看<sub>ヨ</sub>古<sub>ノ</sub>書<sub>ヲ</sub>
- ⑨ C 因<sub>リ</sub>書<sub>ニ</sub>貴<sub>トナル</sub>
- ⑩ D 得<sub>テ</sub>書<sub>ヲ</sub>賢<sub>トナル</sub>
- ⑪ E 因<sub>リ</sub>書<sub>ニ</sub>利<sub>アリ</sub>
- ⑫ 只<sub>ク</sub>見<sub>ル</sub>書<sub>ヲ</sub>榮<sub>ユルヲ</sub>
- ⑬ 賣<sub>リ</sub>金<sub>ヲ</sub>買<sub>ヒ</sub>書<sub>ヲ</sub>讀<sub>ム</sub>
- ⑭ 好<sub>ク</sub>書<sub>ハ</sub>卒<sub>ツ</sub>難<sub>シ</sub>逢<sub>ヒ</sub>
- ⑮ (4) 好<sub>ク</sub>書<sub>ハ</sub>真<sub>ニ</sub>難<sub>シ</sub>致<sub>シ</sub>
- ⑯ (5) 好<sub>ク</sub>書<sub>ハ</sub>在<sub>リ</sub>心<sub>ニ</sub>記<sub>ス</sub>

問一 次の a・b・c の詩句は、①～⑬の詩句のどの句の次に入るか。①の次であれば①、②の次であれば②、というように詩句の番号で答えよ。

a 讀<sub>レ</sub>書<sub>ヲ</sub> 萬倍利 〈注〉萬一萬

b 讀<sub>レ</sub>書<sub>ヲ</sub> 買<sub>レ</sub>金<sub>ヲ</sub> 易

c 不<sub>レ</sub>見<sub>ニ</sub>讀<sub>レ</sub>書<sub>ヲ</sub> 墜<sub>レ</sub>

問二 空欄Aを埋めるのに適当なものを、次のうちから選べ。

\* 書樓 || 書物を入れる楼閣。 書櫃 || 書物を入れるはこ。 窓前 || 窓前に同じ。 金 || 黄金。 ○ 讀 || 讀。 顯 || 顯。 即 || 即。 樓 || 楼。 燈 || 灯。 榮 || 榮。 賣 || 売。 真 || 真。 勸 || 勸。

イ 位                    □ 智                    ハ 徳                    ニ 道

問三 空欄B、Eを埋めるのにそれぞれ適当なものを、次のうちから選べ。

イ 賢者                    □ 愚者                    ハ 富者                    ニ 貧者

問四 傍線部(1)～(5)はどのような意味か。次のうちから適当なものを選べ。

- (1) イ 時間を浪費することにはならない。                    □ 骨が折れることではない。  
 ハ やりすぎるといふことはない。                    ニ 散財することにはならない。
- (2) イ 学識が有るならば、                    □ 財力が有るならば、  
 ハ 書物が有るならば、                    ニ 地位が有るならば、
- (3) イ 書物を学ぶことの意義。                    □ 書物のいわんとすること。  
 ハ 書物を読む方法。                    ニ 書物の正しいありかた。
- (4) イ りっぱな書物は、本当に著すことがむずかしい。  
 □ りっぱな書物は、本当に手に入れることがむずかしい。  
 ハ りっぱな書物は、本当に到達することがむずかしい。
- (5) イ りっぱな書物は、本当に決めることがむずかしい。  
 □ りっぱな書物かどうかは、口に出して言わないことだ。  
 ハ りっぱな書物は、心を込めて記述することだ。  
 ニ りっぱな書物は、心にしっかりと記憶することだ。



次の詩を読んで、後の設問に答えよ。なお、問いの都合で送り仮名を省いたところがある。(北海道大)

解答・解説 ↓ 別冊190ページ

\*後、飲酒 其一 元好問

- |  |  |
|--|--|
| ① 少日不 <sub>レ</sub> 能 <sub>ハ</sub> 觴 <sub>スル</sub> *觴                           | ② 少許 <sub>ニシテ</sub> 便 <sub>ナハ</sub> 有 <sub>レ</sub> 餘 |
| ③ 此 <sub>この</sub> 得 <sub>レ</sub> 酒中 <sub>ニ</sub> 趣 <sub>ヲ</sub>                | ④ 日與 <sub>ニ</sub> 杯杓 <sub>一</sub> 俱 <sub>ニ</sub>     |
| ⑤ 一日不 <sub>レ</sub> 自 <sub>ラ</sub> 澆 <sub>ガ</sub> *澆                            | ⑥ 肝肺如 <sub>シ</sub> 欲 <sub>レ</sub> 枯 <sub>レ</sub>     |
| ⑦ 當 <sub>カリテ</sub> 其 <sub>ノ</sub> 得 <sub>レ</sub> 意 <sub>ヲ</sub> 時 <sub>ニ</sub> | ⑧ 萬物寄 <sub>ス</sub> 一 <sub>ニ</sub> *壺                 |
| ⑨ 作 <sub>な</sub> 病 <sub>レ</sub> 知 <sub>ル</sub> 奈何 <sub>い</sub>                 | ⑩ *妾婦良 <sub>ま</sub> *區 <sub>こ</sub> 區 <sub>カ</sub>   |
| ⑪ 但 <sub>ダ</sub> 媿 <sub>ハ</sub> *生 <sub>ハ</sub> 理 <sub>ハ</sub> 癡 <sub>サ</sub>  | ⑫ 飢寒致 <sub>ル</sub> 妻 <sub>ニ</sub> *孛 <sub>ニ</sub>    |
| ⑬ 吾 <sub>ガ</sub> 貧 <sub>ハ</sub> 蓋 <sub>シ</sub> 有 <sub>レ</sub> 命                | ⑭ 此酒不 <sub>レ</sub> 可 <sub>レ</sub> 無                  |

(遺山先生文集)

\*後飲酒「飲酒」五首に続く作品五首の名。觴音はシャウ、さかずきの意。澆流しこむ。壺とつくり。妾婦婦人をいやしめていう語。區區こせこせしたさま。孛音はド、こどもの意。理生計。孛音はド、こどもの意。

問一 (1)第一句の「少」と第二句の「少」、(2)第一句の「日」と第四句の「日」、それぞれの意味上の相違を述べよ。

問二 第八句「萬物寄一壺」を解釈せよ。

問三 第九句「作病知奈何」を口語訳せよ。

問四 第十三句の「蓋有命」の三文字は、どういう意味か。簡潔に述べよ。

問五 第十四句「此酒不可無」を平仮名のみで書き下せ。

(例) 學而時習之 ↓ まなぶるときにこれをならふ

問六 この詩に込められた詩人の心情を四十字以内で述べよ。

6

発展問題

次の詩は、南朝・梁の詩人\*庾信が北朝に仕えるようになってから詠んだ詩である。これを読んで、後の問いに答えよ。  
 (東京大)

梅花

当年 <small>らふ</small> * 蠟 <small>ニシテ</small> 月半 <small>ニシテ</small>	已 <small>ニ</small> 覚 <small>ユ</small> 梅 花 <small>たけなはナルヲ</small> 闌 <small>ニ</small>
不 <small>レ</small> 信 <small>セ</small> 今 春 晚 <small>おそキヲ</small>	俱 <small>ニ</small> 来 <small>タツテ</small> 雪 裏 看 <small>ル</small>
樹 動 <small>キテ</small> * 懸 冰 落 <small>チ</small>	枝 高 <small>クシテ</small> 出 <small>ダセバ</small> 手 寒 <small>シ</small>
早 <small>ツトニ</small> 知 <small>ラバ</small> 覓 <small>もとムルトモト</small> 不 <small>レ</small> 見 <small>エ</small>	真 <small>ニ</small> 悔 <small>ユ</small> 着 衣 单 <small>ナルヲ</small>

\* 庾信||南朝・梁の元帝の命で北朝・西魏の都長安に使いしている間に梁が滅び、そのまま西魏・北周に仕えた。 蠟月||旧暦十二月。 懸冰||木にかかっている氷。 つらら。

問一 傍線部「当年」とは、ここではどういふ時期のことを指しているか。

問二 傍線部「不レ信今春晚 俱来雪裏看」を、平易な現代語に訳せ。

問三 傍線部「枝高出レ手寒」とあるが、作者は何をしようとしたのか。

問四 傍線部「早知ニ覓不見 真悔ニ着衣单」を、作者の感慨が分かるように、適当な言葉を補いながら平易な現代語に訳せ。



中国には「望夫石」「望夫山」と呼ばれる岩や山が各地にある。いずれも〔I〕に見るような伝説に基づくものであり、これらを歌った詩も多い。〔II〕〔III〕は、その代表的なものである。これを読んで、後の問いに答えよ。(東京大)

解答・解説↓別冊192ページ

〔I〕 武昌陽新県北上、有<sub>二</sub>望夫石、状若<sub>二</sub>人立<sub>一</sub>者。伝<sub>二</sub>云<sub>一</sub>、「昔有<sub>二</sub>貞婦<sub>一</sub>、其夫從<sub>レ</sub>役、遠<sub>レ</sub>赴<sub>二</sub>国難<sub>一</sub>。婦携<sub>二</sub>弱子<sub>一</sub>、餞<sub>二</sub>送<sub>一</sub>此山。立<sub>二</sub>望<sub>一</sub>而形化<sub>レ</sub>為<sub>レ</sub>石。」 (〔列異伝〕)

〔II〕 \*顛望<sub>二</sub>臨<sub>一</sub>碧空<sub>一</sub> 怨情感<sub>二</sub>離別<sub>一</sub>

江草不<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>愁 巖花但<sub>二</sub>争<sub>一</sub>發

雲山万重隔<sub>テ</sub> 音信千里絶<sub>ユ</sub>

春去秋復来<sub>ル</sub> 相思幾時歇<sub>ン</sub>

(李白「望夫山」)

〔III〕 終日望<sub>二</sub>夫夫<sub>一</sub>不<sub>レ</sub>歸 化<sub>二</sub>為<sub>一</sub>孤石<sub>一</sub> 苦<sub>二</sub>相<sub>一</sub>思

望<sub>二</sub>来<sub>一</sub>已<sub>レ</sub>是<sub>二</sub>幾千載<sub>一</sub> 只<sub>二</sub>似<sub>一</sub>當時<sub>一</sub> 初<sub>二</sub>望<sub>一</sub>時

(劉禹錫「望夫石」)

\*顛望=仰望に同じ。

問一 〔I〕の文中の「役」「弱」を含む二字の熟語をそれぞれ一つずつ挙げよ。ただし、「役」「弱」は文中で用いられている意味と同じであること。(例) 貞婦→貞節

問二 〔I〕の「立望而形化為石」とはどういうことか。分かりやすく説明せよ。

問三 〔II〕の「江草不<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>愁 巖花但<sub>二</sub>争<sub>一</sub>發」を、作者の感慨が分かるように、平易な現代語に訳せ。

問四 〔III〕の「望来已<sub>レ</sub>是<sub>二</sub>幾千載<sub>一</sub> 只<sub>二</sub>似<sub>一</sub>當時初望時」はどういう意味か。簡潔に要約して述べよ。